

秋色の風情を感じて！

皆さんは、秋という言葉の響きから何を感じますか？「秋・・・」この言葉の由来は、「空の色が清明(あきらか)」「収穫が飽き満ちる(あきみちる)」「紅葉の紅(あか)が変化して」などがあります。自然の移り変わりの中で、風の匂いや動植物の色を感じながら、自らの中の生き物としての自然を見出し、自然(じねん)からいろいろな秋の思いを感じていく。とり立てて、自然の移ろいが色とりどりに映し出される秋、神無月の頃は、その思いを増幅させてくれるからこそ、秋を感じる言葉(実り・スポーツ・読書・食欲・芸術等)が浮かぶのだと実感させられます。

そして、学校では様々な活動が実践されます。無事に終了したスポーツの秋(体育祭)・文化の秋(文化祭)・・・躍動の秋であり、それを経て成長する生徒の姿に頼もしさを感じることはいうまでもありません。

学校では平成 29 年度を折り返し、上半期の反省を踏まえて現状をしっかりと把握し、実践を積み重ねています。秋風の風情を感じている余裕すらない状態に陥っている自分に気づくとき、だからこそ浮かび上がる自然(じねん)の感性を大切にしながら季節(とき)を楽しむことがこれからにつながっていくように思います。生徒たちの心の豊かさ育てるには、自分自身が秋真っ只中で思う感情を大切にしたい。自分を振り返り、そして他を思い、心を浄化させ明日に向けて更なる実践の季節(秋)でありたいものです。



たつの市立新宮中学校

校長 芝崎 幸成